

教科目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識及び技能	② 思考・判断・表現力等	③ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能 技術と生活や社会、環境との関わりについての理解 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4 5 6 7	生活や社会における技術の役割 材料と加工の技術 技術のガイダンス ・生活と産業 ・継承される技術 ・技術とエネルギー ・材料を利用するための技術	<ul style="list-style-type: none"> 材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みの理解。 材料と加工の技術に込められた工夫を読み取る力・材料と加工の技術の見方・考え方の気付き。 進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする態度 生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 木材や金属などの材料と使用方法を説明できる。木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 じょうぶな構造や形状・組み合わせについて科学的な原理・法則を説明できる。 図面を読んだり、書いたりすることができる。 製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。 課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 	定期考査 ワークシート
9 10 11 12 1 2	材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ①安全・適切に材料取り、材料取り・切断・部品加工を行うことができる。安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 ②適切に組立てができるよう手順を考えて組立てを行うことができる。完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。 ③自らの課題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。 	製作用業 定期考査 授業観察 ワークシート

3	これからの材料と加工の技術	<p>これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現を目指して、材料と加工の技術を評価し、適切な選択・管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。 ・よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。 	
---	---------------	---	--

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考査	2 学期中間考査	2 学期期末考査	学年末考査
<ul style="list-style-type: none"> ・情報と技術 ・材料と加工の技術 		<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術

学習上のアドバイス

授業について

- ① プリントを忘れません。問題解決のポイントが記述されています。しっかり確認をして授業・作業を進めましょう。
- ② 1時間中に作業を終わらせるようにしましょう。次の授業に回しません。
- ③ メモをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモします。

家庭学習のアドバイス

- ① 授業時数が少ない教科です。その日に作業した内容に目を通しましょう。
- ② 欠席した場合、配布されたプリントがあったのか確認しましょう。プリントをもらい、その授業に行ったことを友人に聞いてメモや色を付けましょう。

教科目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識及び技能	② 思考・判断・表現力等	③ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能 技術と生活や社会、環境との関わりについての理解 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名		単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	情報とコンピュータ【1】 情報の表現と伝達【2】 情報セキュリティと情報モラル【3】	さまざまな生物育成の技術【1】	～生物育成の技術～ ①生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ②生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。 ③進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	～情報と技術～ 製作作業 ワークシート
5		生物育成の技術による問題解決【2】	①育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。 ②条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。	～生物育成の技術～ 栽培記録シート ワークシート レポート 定期考査
6			～情報の技術～ ①情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ②身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	
7				
9	情報セキュリティと情報モラル【1】		①情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 情報モラルの必要性と情報を発信する時の注意点について説明できる。 ③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	～情報と技術～ 製作作業 ワークシート

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考查	2 学期中間考查	2 学期期末考查	学年末考查
<ul style="list-style-type: none"> ・情報と技術 ・生物の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報と技術 ・生物の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と技術 ・生物の育成

学習上のアドバイス**授業について**

- ①プリントを忘れない。問題解決のポイントが記述されています。しっかり確認をして授業・作業を進めましょう。
- ②1時間中に作業を終わらせるようにする。次の授業に回さない。
- ③メモをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。

家庭学習のアドバイス

- ② 授業時数が少ない教科です。その日に作業した内容に目を通しましょう。
- ②欠席した場合、配布されたプリントがあったのか確認しましょう。プリントをもらい、その授業で行ったことを友人に聞いてメモや色を付けましょう。

教科目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識及び技能	② 思考・判断・表現力等	③ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能 技術と生活や社会、環境との関わりについての理解 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	情報とコンピュータ 【1】	～情報の技術～ ①情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	～情報と技術～ 製作作業 ワークシート
5			
6		②身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。	
7	生物育成の技術による 問題解決【1】	③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ～生物育成の技術～ ①育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。 ②条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。	～生物育成の技術～ 栽培記録シート ワークシート レポート 定期考査
9	計測・制御による問題 解決【8】	～情報の技術～ ①双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	～情報と技術～ 製作作業 ワークシート
10		②双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。	
11		問題解決とその過程を振り返り、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	

12			<p>問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。</p> <p>～生物育成の技術～</p> <p>①育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。</p> <p>②条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。</p> <p>③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</p>	<p>～生物育成の技術～</p> <p>栽培記録シート</p> <p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>定期考査</p>
1 2 3	<p>計測・制御による問題解決【2】</p> <p>これからの情報の技術【1】</p>	<p>生物育成の技術による問題解決【1】</p>	<p>～情報の技術～</p> <p>①計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</p> <p>②計測・制御に関わる問題を見いだし、課題を設定できる。</p> <p>制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。</p> <p>問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。</p> <p>③自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。</p> <p>～生物育成の技術～</p> <p>①生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる。</p> <p>②よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。</p> <p>③よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>①育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。</p> <p>②条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。</p> <p>③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>授業観察</p> <p>ワークシート</p>

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考査	2 学期中間考査	2 学期期末考査	学年末考査
<ul style="list-style-type: none"> ・情報とコンピュータ ・プログラミング ・生物の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報とコンピュータ ・プログラミング 	

学習上のアドバイス

授業について

- ①プリントを忘れない。問題解決のポイントが記述されています。しっかり確認をして授業・作業を進めましょう。
- ②1時間中に作業を終わらせるようにする。次の授業に回さない。
- ③メモをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。

家庭学習のアドバイス

- ①2週間に1度の教科です。その日に作業した内容に目を通しましょう。
- ②欠席した場合、配布されたプリントがあったのか確認しましょう。プリントをもらい、その授業に行ったことを友人に聞いてメモや色を付けましょう。